

### 新たな道路施設の計画について

四 竈 英 夫



【高速道のスマートーC(インターチェンジ)誘致について】

【質問】東北自動車道のインターチェンジが深谷にあるため、仙台方面に向かう観光バスは、白石に逆戻りするおっくうさから、本市を素通りして、仙台方面に向かう傾向にある。

本市に観光客を呼び込む観点からも、ETC装着車だけが通行できる簡易型の無人施設であるスマートーCを誘致するお考えがないか伺いたい。

【答弁】【市長】スマートーCは安価でできるため、あれば絶対便利だと思っている。しかしETC装着車のみでの通行であり、通行でき

る車両とできない車両の区別。また、間違つて進入した場合の車両のUターンスペースの確保等の問題、さらに国土交通省からの利用に関する検証等もあり、あれば便利だが実現は難しいと思う。

【福岡地区と郡山地区を結ぶ橋梁の計画について】

【質問】白石大橋と蔵王町宮までの間に、白石川に架かる橋がない。

深谷の工業団地そして4号バイパスと市街地中心部を結ぶ橋は是非とも必要なものと思われる。

折しも白石沖西堀線が実現に向けて動き出している。絶好の機会だと思う。建設の実現に向けて、取り組む考えはないか。

【答弁】【市長】昭和48年に計画された都市計画道路中河原白石沖線があったが、現在は東町から国道113号線までの1.58キロが完成している。そこからJR東北本線をまたいで、白石川から福岡長袋中河原地区までとなると現在のところ具体的な計画はない。昭和40年代に計画された都市計画道路については、しっかり見直していかなければならないと考えている。

### 討 論

第40号議案・白石市職員給与の臨時特例に関する条例

反対 水落 孝子

本議案は、国が7.8%の国家公務員の給与減額を踏まえ、ラスパイルス指数が100を超える自治体の地方公務員の給与減額を迫り、地方交付税を減額する暴挙に出たものを受け、平均3%の給与減額を平成25年7月1日から平成26年3月31日までの間減額するものである。

その結果、白石市においては歳入は地方交付税約1億円の削減であるが、これまでの人件費削減努力を反映し、地域の元気づくり事業費として約4千200万円を増額、差し引き約5千800万円の交付税減額となる。その一方、歳出は給与費約2千900万

円の減額となる。

地方交付税は、地方固有の財源であり、地方自治の本旨にのっとり国が責任を持って確保すべきものであり、国が勝手に方針を押しつけ、交付税を削減してくることは前代未聞の地方政治への介入であり、許されないことである。

市長は、全国市長会でも声明を出し抗議したと答弁した。そうであるなら、給与削減をしないで頑張る自治体も少なくないことから、白石市においても抗議声明に賛成するだけでなく、給与削減に感じないという態度をお示しいただきたかったと思うものである。

ラスパイルス指数の比較は、国家公務員給与においては局長や次官クラスの高給者は入っていない指数であり、公平ではないと言われているところでもある。



まだ復興財源確保のためと言うなら、25年間で10兆5千億円の復興増税に国民は応じているわけで、復興財源の流用などあってはならないことである。国の歳出削減部分をこのような地方交付税削減に求めるのではなく、1メートルの工事が1億円もかかるような工事など不要不急な歳出の見直しなどに努めるべきだと私は思う。

よって本案に反対である。

ラスパイルス指数とは地方公務員と国家公務員の平均給与額を、国家公務員の職員構成を基準として、一般行政職における学歴別、経験年数別に比較し、国家公務員の給与を100とした場合の地方公務員の給与水準を示した指数